

調達管理番号・案件名

25a00947_全世界(広域)障害主流化セクター別ガイダンスノート作成業務(国内業務)(一般競争入札(総合評価落札方式-ランブサム型))

質問と回答は以下のとおりです。

2026年3月30日

質問番号	ページ	項目	質問内容	回答
1	10	第2章、第3条	障害当事者団体等へのヒアリングにおいて、国内移動等に係る実費が発生する場合、これらは全て見積書に含めるべきでしょうか。また、貴機構で想定されているヒアリングの団体数・回数がありましたらご教示をお願いします。	国内移動費は契約金額に含めて下さい。ヒアリング対象の障害者団体数、ヒアリング回数(対面、オンラインを含む)については「技術提案書」でご提案下さい。
2	11	第2章、第4条(2)1)(エ)	「上記の結果を踏まえ、各分野の分析報告書(日本語)を作成する」とありますが、第5条 報告書等の一覧には各分野の分析報告書は記載されていないため、各分野の分析報告書は最終的には最終報告書としてまとめる、つまり、ページ15に示されている報告書目次案の各分野のパートがこの「各分野の分析報告書」のことを指しているという理解であっていますでしょうか。また、上記の理解のとおりであれば、各分野の分析報告書は日本語で作成することになっていますが最終報告書は日・英・仏・西の4言語で作成するので、結果的に日本語だけではなく残りの3言語分も作成することになるという理解で合っていますでしょうか。	12分野の分析結果をまとめた最終報告書は日本語のみになりますが、それに含まれるガイダンスノートは4言語作成します。また、各分野の分析報告書に対し、JICA内の各担当部署からの個別の意見を反映した上最終化し、最終報告書にまとめます。
3	11	第2章、第4条、脚注5	「既に公開している8分野の分析報告書を参考に……構成をプロポーザルで提案すること」との指示がございますが、「分析報告書」という名称の資料がネット検索や公開資料から特定できません。既に公開されている「ガイダンスノート」そのものを指しているのでしょうか。参考とすべき「別の報告書」が存在すれば、入手方法をお知らせください。	入札説明書に「公開済み」とした8分野の分析報告書の掲載作業が未了だったことをお詫びします。大変恐縮ながら、社会保障チーム(hmghs@jica.go.jp)まで提供希望の旨、ご連絡下さい。報告書を共有いたします。 本取扱いに伴い、調達プロセスを若干後ろ倒しすることとし、「入札説明書」のP.2 2.(3)日程表内の記述を以下の通り修正します。 【変更後日程】 4. 入札書の提出日:2026年4月8日 12時 5. 技術提案書審査結果の連絡: 入札失効日時の2営業日前まで(変更なし) 6. 入札会:2026年4月21日 14時
4	13	入札説明書 第2章 特記仕様書 第5条 報告書等 (1)調査報告書等 最終報告書(ガイダンスノート含む)	最終報告書(ガイダンスノート含む)として「日本語、英語、仏語、西語」の4言語での作成が指定されています。こちらは、12分野のガイダンスノートを4言語で作成し、最終報告書の本体である、分析報告書は日本語のみでの作成という理解でよろしいでしょうか。それとも、ガイダンスノートと分析報告書の両方を4言語で作成するというのでしょうか。また、仏語、西語での報告書作成に必要な翻訳費は定額計上ではないようですが、本契約に含まれる想定でしょうか。	2. に記載のとおり、分析報告書は日本語のみ、ガイダンスノートは4言語を作成します。
5	13	第2章、第5条(3)報告会	報告会における「手話通訳・文字通訳」等の備上費用は、見積書に含めるべきという理解でよろしいでしょうか。これらの合理的配慮は、勉強会においても必要であると想定されているでしょうか。	ガイダンスノートの報告会は内外関係者を対象にするため、手話通訳・文字通訳などの合理的配慮の費用も含めて下さい。 一方、勉強会はJICA内の各分野の関係部署を対象としているため、合理的配慮の費用は計上不要です。

以上